

アラガーデン VFF ご使用の手引

このたびは、「アラガーデン VFF」をお買上げいただきましてありがとうございます。「ALAガーデン VFF」はコスモエネルギーグループが開発した5-アミノレブリン酸（ALA）を配合した液状肥料です。ALAは全ての植物がもともと持っている大切なアミノ酸で、クロロフィル（葉緑素）の前駆体となるものです。「アラガーデン VFF」には肥料成分（窒素8・リン酸5・カリ3）とマグネシウムおよび微量元素が入っており、ALAとこれらの成分が共にはたらき、植物を元気にする作用があります。標準施用倍率は2,000～3,500倍で、葉面散布、根圏施用共にお使いいただけます。「アラガーデン VFF」を使うと水や肥料の吸収が活発になりますので、水や肥料は植物の様子を見て不足しないように与えてください。肥料成分補給には姉妹品のALA配合固形肥料「アラガーデン・ファーム【即溶】」をお勧めします。

<希釈倍率と施用量>

	標準施用倍率	10a当りの施用例			施用間隔
		散布水量	VFF		
茎葉散布	2,000～3,500倍	200 L	60～100g	50～80ml	1～2週
根圏施用	2,000～3,500倍	200 L	60～100g	50～80ml	1～2週

<施用間隔>

おおむね、1週間間隔で施用してください。作物の外見の効果が現れるのは施肥後1～2週間、遅いもので4週間程度です。効果が目に見えるようになってきたら施用間隔を少しあけるようにします。

<対象作物>

野菜、穀物、果樹、花卉類など多くの作物で効果が期待できます。

葉茎菜類	はくさい、こまつな、キャベツ、しゅんぎく、みずな、ほうれんそう、ブロッコリー、ねぎ、たまねぎ、にんにく 等	穀類・豆類	稲、小麦、大麦、大豆、小豆
果菜類	きゅうり、かぼちゃ、トマト、ピーマン、なす、スイートコーン、さやいんげん、えだまめ	果樹	みかん、りんご、なし、ぶどう、かき、おうとう など
		花卉	バラ、キク、トルコギキョウ、スターチス、プリムラ、シクラメン、ベンジャミン など
根菜類	だいこん、かぶ、にんじん、じゃがいも、ながいも、てんさい	その他	茶、牧草、シバ*、タラノメ など

*シバには液肥姉妹品「ALAガーデン・ターフ」（NPK：9.5-0-1.2）がお勧めです。

使用上の注意

- ・施用液は使用時ごとに作成し、作り置きはしないでください。
- ・葉面散布の場合は散布時の温度にお気をつけください。（30℃以上での施用は避ける。午前中が望ましい。）
- ・植物の種類、生育段階、生育状況、気象条件により反応が異なりますので、状況に合わせて施用量や希釈倍率を設定してください。

取扱い上の注意

- ・皮膚や眼に付着した場合には流水で十分に洗い流してください
- ・飲用はできません、また食品容器への移し変えを避けてください
- ・キャップを閉め直射日光や高温を避けて容器を立てた姿勢で保管してください

<製造元>



コスモトレードアンドサービス

ALAアグリビジネスPJ

〒105-8325 東京都港区芝浦1-1-1

TEL 03-3798-1225 FAX 03-3798-3216

<販売元>



清和肥料工業株式会社

営業本部

〒641-0036 和歌山市西浜1660-377

TEL 073-445-2849 FAX 073-445-2875

<保管上の注意>

極端な高温や低温での保管は行わないでください。直射日光の当たらない暗所で保管願います。

薬剤の変性（物理的、化学的变化）が無いことを保証するものではありません。

<注意事項>

- ・本資料は本液肥と農薬の混用を勧奨することを意図するものではありません
- ・施用液の調製は使用の都度とし、作り置きは避けてください
- ・本剤はアルカリ性の用水や農薬、肥料との混用は避けてください
- ・原則として本液肥は単用をお勧めいたしますが、農薬と混用をする場合には薬害や散布液の不安定化に特にご注意ください
- ・農薬との混合で本液肥に含まれる5-アミノレブリン酸の濃度が低下する場合がありますので以下の<参考資料>をご参照ください

<参考資料>

殺菌剤		
農薬名	有効成分	適否
ICボルドー66D	塩基性硫酸銅カルシウム	×
アグリマイシン-100	オキシテトラサイクリン・ストレプトマイシン	○
アツキン水和剤	ストレプトマイシン硫酸塩 チオファネートメチル	△
アリエッティ	ホセチル	○
アミスター20フロアブル	アゾキシストロビン	○
アントラコール	フロピネブ	△
サルファー	硫黄	○
エムダイファー水和剤	マンネブ	×
オーソサイド水和剤	キャプタン	○
オキシラン水和剤	キャプタン、有機銅	○
オンリーワンフロアブル	テブコナゾール	○
カスミンボルドー	カスガマイシン塩酸塩、塩基性塩化銅	×
カンタスドライフロアブル	ボスカリド	○
キノンドー80水和剤	有機銅	○
コサイド3000	水酸化第二銅	×
サブロール乳剤	トリホリン	○
サルバトーレ	テトラコナゾール	○
ジマンダイセン水和剤	マンゼブ75%	×
ジマンダイセンフロアブル	マンゼブ20%	○
ストロビードライ	クレソキシムメチル	○
スペックス水和	シラム・チウラム・フェナリモル	○
スミレックス	フロシמידン	○
セイビアーフロアブル20	フルジオキシニル	○
ダイファー水和	マンネブ	×
ダコニール1000	テトラクロロインソフタロニトリル (TPN)	○
ダコレート水和	ペノミル、フタロニトリル (TPN)	○
タチガレン	ヒドロキシイソキサゾール	○
チオノック	チウラム	△
チルト乳剤	プロピコナゾール	○
テランフロアブル	ジチアノン	○
ドイツボルドーA	塩基性塩化銅	×
ドキリンフロ	有機銅	○
トップジンM	チオファネートメチル	△
ナリアWDG	ピラクrostロビン、ボスカリド	○
パスポートフロ	テトラクロロイソフタロニトリル (TPN)	○
バリダシン	バリダマイシン	○
プレビクールN	プロパモカルブ塩酸塩	○
プロボーズ顆粒	ベンチアパリカルブイソプロピル TPN	○
ペフキノ水水和	イミノクタジン酢酸塩、有機銅	○
ペフラン液剤	イミノクタジン酢酸塩	○
ベルコート水和剤	イミノクタジンアルベシル酸塩	○
ベンコゼブ水和剤	マンゼブ75%	×
ベンレート水和剤	ペノミル	○
マイコシールド	オキシテトラサイクリン	△

殺菌剤		
農薬名	有効成分	適否
マナージDF	イミベンコナゾール	○
モンカット	フルトラニル	○
モンセレン	ベンシクロン	○
ユニックスZ水和剤	ジプロニジル	○
ラリー水和剤	ミクロブタニル	○
ランマンフロアブル	シアゾファミド	△
リゾレックス	トリクロホスメチル	○
リドミルゴールドMZ	マンゼブ・メタラキシルM	△
ロブラール水和剤	イプロジオン	○
殺虫剤		
農薬名	有効成分	適否
MRジョーカー水和剤	シラフルオフェン	△
アクタラ顆粒	チアメトキサム	△
アグロスリン乳剤	シベルメトリン	○
アディオン乳剤	バルメトリン	○
アドマイヤー水和剤	イミダクロプリド	△
アブロード水和剤	ブプロフェジン	○
エバーゴルプラス	クロラントラニリプロール、イミダクロプリド	△
カルホス	イソキサチオン	○
クルーザー	チアメトキサム	△
コロマイト水和剤	ミルバメクチン	△
サンマイト水和剤	ピリダベン	△
ジメトエート粒剤	ジメトエート	△
ジュリボフロアブル	クロラントラニリプロール・チアメトキサム	△
スピノエース	スピノサイド	○
スブラサイド乳40	メチダチオン (DMTP)	○
スミチオン水和剤	フェニトロチオン (MEP)	○
ダースバンドF	クロルピリホス	△
ダントツ水溶剤	クロチアニジン	○
テルスター	ピフェントリン	○
トモノールS	マシソ油	○
トルネードエースDF	インドキサカルブ	○
トレボン	エトフェンブロックス	○
ネキリエースK	イソキサチオン	○
ノンブラストレボン粉剤	エトフェンブロックス、フェリムゾン	○
ハーベストオイル	マシソ油	○
バダンSG水溶剤	カルタップ塩酸塩	○
ハチハチフロアブル	トルフェンピラド	△
ファイブスター顆粒	パチルス毒素	△
フェニックス顆粒	フルベンジアミド	○
プレオフロアブル	ピリダリル	○
モスビラン水溶剤	アセタミプリド	○
ラービン	チオジカルブ	○
ロムダン	テブフェノジド	○

- ・凡例 ○：5-アミノレブリン酸の濃度低下が認められない。
- △：5-アミノレブリン酸の濃度低下が認められる。（希釈液を直ちに使用し使い切ることをお勧めします。）
- ×：5-アミノレブリン酸の濃度低下が著しい。